

2016年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	112 数
一般病院	531 数
個人医療機関	4 数
登録衛生検査所	87 数
検診機関	44 数
合計	778 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態
細胞診専門医数	2,375 数
② 経験年数	1:定期的に週2回以上勤務 186 数
経験年数合計/細胞診専門医数(平均)	18.9 年
③ 常勤か非常勤	2:毎週1回勤務:3時間以上 301 数
常勤	1,321 数
非常勤	1,054 数
	3:毎週1回勤務:1時間~3時間未満 144 数
	4:2週間に1回勤務:3時間以上 54 数
	5:2週間に1回勤務:1時間~3時間未満 57 数
	6:それ以外 312 数
	合計 1,054 数
	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否
	はい 707 数
	いいえ 207 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤
細胞診検査士数	4,549 数
② 経験年数	常勤 3,590 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	18.2 年
	非常勤 959 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	2,612,648	119,421	24,363	37,186	2,809,932	156,267
呼吸器	981,741	35,578	69,980	60,219	1,151,193	120,236
消化器	61,209	22,385	20,484	7,008	111,145	38,105
泌尿器	1,522,242	131,346	44,902	2,128	1,705,504	98,981
乳腺	109,666	20,660	23,841	32,015	187,552	38,047
甲状腺	89,589	20,236	13,644	19,481	142,840	14,629
体腔液	230,082	19,622	48,833	824	299,479	82,735
リンパ節	25,631	5,751	20,124	4,330	55,906	24,009
その他	92,591	15,623	12,514	4,987	125,584	22,620
小計	5,729,231	390,675	278,960	168,187	6,589,100	601,313

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
19,807	9,832,486	214,442	44,757	147,793	97,152	14,363	8,374	9,087	714	1,318	10,400,764

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	3,358	153	31	48	3,612	201
呼吸器	1,262	46	90	77	1,480	155
消化器	79	29	26	9	143	49
泌尿器	1,957	169	58	3	2,192	127
乳腺	141	27	31	41	241	49
甲状腺	115	26	18	25	184	19
体腔液	296	25	63	1	385	106
リンパ節	33	7	26	6	72	31
その他	119	20	16	6	161	29
小計	7,364	502	359	216	8,469	773

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
25	12,638	276	58	190	125	18	11	12	1	2	13,369

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	3,300 数	医師	3,078 数	プログラム	1,320 数
技師参加者	11,362 数	技師	10,453 数	成績(平均)	97.8 %
合計	14,662 数	参加者	13,531 数		

2016年度 大学附属病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	112 数
一般病院	数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	数
検診機関	数
合計	112 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	633 数	1 : 定期的に週 2 回以上勤務	12 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3 時間以上	31 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	13.9 年	3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	2 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	12 数
常勤	543 数	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	7 数
非常勤	90 数	6 : それ以外	26 数
		合計	90 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	54 数
		いいえ	10 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	736 数	常勤	697 数
② 経験年数		非常勤	39 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	14.4 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	245,637	23,767	5,866	5,207	280,479	43,291
呼吸器	70,370	7,272	17,889	5,270	100,801	35,125
消化器	18,386	6,716	6,102	2,589	33,793	13,573
泌尿器	168,465	20,971	8,269	277	197,982	23,416
乳腺	9,696	2,384	3,746	3,710	19,536	7,854
甲状腺	15,097	4,213	2,878	5,277	27,465	3,846
体腔液	61,995	4,658	11,788	319	78,760	27,700
リンパ節	7,842	1,801	6,308	1,676	17,616	8,033
その他	28,795	5,051	4,013	1,655	39,514	9,866
小計	630,118	76,886	67,100	25,995	795,946	172,704

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1,479	340,616	17,527	4,569	15,290	16,123	2,066	2,310	1,490	181	356	413,045

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	2,193	212	52	46	2,504	387
呼吸器	628	65	160	47	900	314
消化器	164	60	54	23	302	121
泌尿器	1,504	187	74	2	1,768	209
乳腺	87	21	33	33	174	70
甲状腺	135	38	26	47	245	34
体腔液	554	42	105	3	703	247
リンパ節	70	16	56	15	157	72
その他	257	45	36	15	353	88
小計	5,626	686	599	232	7,107	1,542

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
13	3,041	156	41	137	144	18	21	13	2	3	3,688

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	908 数	医師	856 数	プログラム	192 数
技師参加者	2,125 数	技師	1,949 数	成績(平均)	98.3 %
合計	3,033 数	参加者	2,805 数		

2016年度 一般病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	531 数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	数
検診機関	数
合計	531 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	1,165 数	1:定期的に週2回以上勤務	43 数
② 経験年数		2:毎週1回勤務:3時間以上	202 数
経験年数合計/細胞診専門医数(平均)	19.7 年	3:毎週1回勤務:1時間~3時間未満	37 数
③ 常勤か非常勤		4:2週間に1回勤務:3時間以上	34 数
常勤	717 数	5:2週間に1回勤務:1時間~3時間未満	23 数
非常勤	448 数	6:それ以外	109 数
		合計	448 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	310 数
		いいえ	60 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	2,123 数	常勤	2,003 数
② 経験年数		非常勤	120 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	15.5 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	733,910	44,028	12,101	15,392	804,743	80,819
呼吸器	203,765	16,672	43,596	17,066	280,274	77,185
消化器	34,323	12,659	13,059	3,849	63,699	22,571
泌尿器	468,433	55,433	24,665	1,096	547,813	58,732
乳腺	37,375	7,595	11,792	11,494	68,026	22,904
甲状腺	47,111	10,558	7,331	10,234	75,124	8,524
体腔液	127,709	10,513	28,250	389	166,179	51,284
リンパ節	14,893	3,374	11,767	2,202	32,127	15,017
その他	45,240	6,330	6,539	2,363	60,341	11,720
小計	1,712,756	167,162	159,134	64,079	2,098,291	354,440

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
7,060	1,496,753	51,662	11,699	36,202	30,977	4,938	3,147	5,962	161	693	1,648,690

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,382	83	23	29	1,516	152
呼吸器	384	31	82	32	528	145
消化器	65	24	25	7	120	43
泌尿器	882	104	46	2	1,032	111
乳腺	70	14	22	22	128	43
甲状腺	89	20	14	19	141	16
体腔液	241	20	53	1	313	97
リンパ節	28	6	22	4	61	28
その他	85	12	12	4	114	22
小計	3,226	315	300	121	3,952	667

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
13	2,819	97	22	68	58	9	6	11	0	1	3,105

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	1,676 数	医師	1,564 数	プログラム	864 数
技師参加者	6,033 数	技師	5,589 数	成績(平均)	98.0 %
合計	7,709 数	参加者	7,153 数		

2016年度 個人医療機関 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	数
個人医療機関	4 数
登録衛生検査所	数
検診機関	数
合計	4 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	7 数	1 : 定期的に週 2 回以上勤務	1 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3 時間以上	2 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	26.5 年	3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	1 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	0 数
常勤	3 数	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	0 数
非常勤	4 数	6 : それ以外	0 数
		合計	4 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	2 数
		いいえ	2 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	11 数	常勤	10 数
② 経験年数		非常勤	1 数
経験年数合計/細胞診検査士数 (平均)	20.2 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,113	26	11	10	1,160	92
呼吸器	93	16	36	24	169	40
消化器	39	7	5	3	54	7
泌尿器	642	31	14	1	688	26
乳腺	5	4	2	3	14	4
甲状腺	5,325	684	1,570	152	7,731	1,677
体腔液	81	8	9	0	98	2
リンパ節	205	25	367	56	653	277
その他	11	3	0	1	15	0
小計	7,514	804	2,014	250	10,582	2,125

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
18	11,645	272	61	167	106	13	12	4	3	0	12,301

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	278	7	3	3	290	23
呼吸器	23	4	9	6	42	10
消化器	10	2	1	1	14	2
泌尿器	161	8	4	0	172	7
乳腺	1	1	1	1	4	1
甲状腺	1,331	171	393	38	1,933	419
体腔液	20	2	2	0	25	1
リンパ節	51	6	92	14	163	69
その他	3	1	0	0	4	0
小計	1,879	201	504	63	2,646	531

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
5	2,911	68	15	42	27	3	3	1	1	0	3,075

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	1 数	医師	1 数	プログラム	4 数
技師参加者	31 数	技師	29 数	成績 (平均)	100.0 %
合計	32 数	参加者	30 数		

2016年度 登録衛生検査所 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	87 数
検診機関	数
合計	87 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	429 数	1 : 定期的に週 2 回以上勤務	118 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3 時間以上	52 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	22.2 年	3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間~3 時間未満	74 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	5 数
常勤	45 数	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間~3 時間未満	9 数
非常勤	384 数	6 : それ以外	126 数
		合計	384 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	249 数
		いいえ	107 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	1,314 数	常勤	578 数
② 経験年数		非常勤	736 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	23.2 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,352,565	45,940	6,016	14,511	1,436,032	29,162
呼吸器	590,758	10,633	7,693	30,811	644,395	7,516
消化器	7,691	2,871	1,195	551	12,558	1,528
泌尿器	863,879	53,942	11,495	689	936,705	16,560
乳腺	60,771	10,384	7,839	16,292	96,886	7,143
甲状腺	18,648	4,593	1,660	3,512	28,413	573
体腔液	38,702	4,366	8,447	113	52,428	3,646
リンパ節	2,569	538	1,634	373	5,304	678
その他	17,753	4,166	1,917	945	24,781	1,014
小計	2,953,336	137,433	47,896	67,797	3,237,502	67,820

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
9,311	6,401,214	130,768	25,007	85,069	43,059	5,759	2,487	1,407	324	247	6,704,649

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	15,547	528	69	167	16,506	335
呼吸器	6,790	122	88	354	7,407	86
消化器	88	33	14	6	144	18
泌尿器	9,930	620	132	8	10,767	190
乳腺	699	119	90	187	1,114	82
甲状腺	214	53	19	40	327	7
体腔液	445	50	97	1	603	42
リンパ節	30	6	19	4	61	8
その他	204	48	22	11	285	12
小計	33,946	1,580	551	779	37,213	780

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
107	73,577	1,503	287	978	495	66	29	16	4	3	77,065

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	491 数	医師	433 数	プログラム	191 数
技師参加者	2,202 数	技師	1,917 数	成績(平均)	96.4 %
合計	2,693 数	参加者	2,350 数		

2016年度 検診機関 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	数
検診機関	44 数
合計	44 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	134 数	1 : 定期的に週 2 回以上勤務	12 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3 時間以上	14 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	26.3 年	3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	30 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	3 数
常勤	13 数	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	18 数
非常勤	121 数	6 : それ以外	44 数
		合計	121 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	85 数
		いいえ	28 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	345 数	常勤	283 数
② 経験年数		非常勤	62 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	24.3 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	238,204	4,609	343	2,053	245,209	2,422
呼吸器	112,957	969	757	7,047	121,730	358
消化器	743	127	120	16	1,006	419
泌尿器	16,106	722	328	65	17,221	228
乳腺	1,742	290	456	511	2,999	125
甲状腺	3,239	148	178	299	3,864	8
体腔液	1,422	71	310	3	1,806	73
リンパ節	122	13	48	23	206	4
その他	666	59	35	23	783	7
小計	375,201	7,008	2,575	10,040	394,824	3,644

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1,937	1,531,890	13,429	3,231	10,737	6,657	1,574	395	217	45	22	1,570,134

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	5,414	105	8	47	5,573	55
呼吸器	2,567	22	17	160	2,767	8
消化器	17	3	3	0	23	10
泌尿器	366	16	7	1	391	5
乳腺	40	7	10	12	68	3
甲状腺	74	3	4	7	88	0
体腔液	32	2	7	0	41	2
リンパ節	3	0	1	1	5	0
その他	15	1	1	1	18	0
小計	8,527	159	59	228	8,973	83

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
44	34,816	305	73	244	151	36	9	5	1	1	35,685

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	224 数	医師	224 数	プログラム	69 数
技師参加者	971 数	技師	967 数	成績(平均)	96.8 %
合計	1,195 数	参加者	1,191 数		

精度管理に関する質問調査 総合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	760	いいえ	15		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	740	いいえ	37		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	698	いいえ	76	「はい」ならば何%くらいですか	31.1 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	717	いいえ	56	「はい」の場合のダブルチェック実施率	45.6 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	4.1 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	771	いいえ	2	標本の保管年数	30.6 年	
					報告書の保管年数	61.1 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	771	いいえ	3		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	771	いいえ	3		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	769	いいえ	4		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	769	いいえ	4		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	565	いいえ	208		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	352	いいえ	425	1日の最大検体数	69.2 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	501	いいえ	272		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	769	いいえ	6		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	758	いいえ	13		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	756	いいえ	19		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適當な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	716	いいえ	59		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	758	いいえ	15		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	668	いいえ	105	「いいえ」の場合何%	27.7 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	522	いいえ	249	「はい」の場合 一年何回	50.7 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	461	いいえ	275		

精度管理に関する質問調査 大学附属病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	108	いいえ	3		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	106	いいえ	6		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	105	いいえ	7	「はい」ならば何%くらいですか	48.6 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	101	いいえ	4	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	53.1 % 3.8 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	110	いいえ	1	標本の保管年数 報告書の保管年数	49.8 年 79.6 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	111	いいえ	1		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	112	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	111	いいえ	1		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	111	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	85	いいえ	27		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	37	いいえ	75	1日の最大検体数	60.2 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	59	いいえ	52		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	111	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	108	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	106	いいえ	6		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	103	いいえ	9		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	107	いいえ	5		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	104	いいえ	8	「いいえ」の場合何%	46.3 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	82	いいえ	28	「はい」の場合 一年何回	53.5 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか？	はい	75	いいえ	32		

精度管理に関する質問調査 一般病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	522	いいえ	6			
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	504	いいえ	25			
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	480	いいえ			「はい」ならば何%くらいですか	32.4 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	477	いいえ	47		「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	50.1 % 3.7 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	526	いいえ	1		標本の保管年数 報告書の保管年数	33.8 年 68.9 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	523	いいえ	2			
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	522	いいえ	3			
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	523	いいえ	1			
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	522	いいえ	3			
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	350	いいえ	176			
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	200	いいえ	328	1日の最大検体数	62.9 枚	
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	332	いいえ	193			
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	522	いいえ	4			
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	517	いいえ	9			
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	515	いいえ	12			
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	478	いいえ	49			
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	518	いいえ	8			
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	454	いいえ	72	「いいえ」の場合何%	28.4 %	
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	323	いいえ	202	「はい」の場合 一年何回	58.6 回	
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	274	いいえ	224			

精度管理に関する質問調査 個人病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	4	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	4	いいえ	0	「はい」ならば何%くらいですか	32.8 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	4	いいえ	0	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	42.3 % %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	4	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	8.5 年 55.3 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	4	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	3	いいえ	1		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	3	いいえ	1	1日の最大検体数	50.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	3	いいえ	1		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	4	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	4	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	4	いいえ	0	「いいえ」の場合何%	%
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	3	いいえ	1	「はい」の場合 一年何回	28.3 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	1	いいえ	2		

精度管理に関する質問調査 登録衛生検査所 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	81	いいえ	5		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	81	いいえ	5		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	77	いいえ	10	「はい」ならば何%くらいですか	7.5 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	84	いいえ	3	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	18.2 % 8.2 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	86	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	7.6 年 18.7 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	87	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	87	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	85	いいえ	2		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	86	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	85	いいえ	1		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	75	いいえ	12	1日の最大検体数	82.3 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	68	いいえ	19		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	86	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	87	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	86	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	86	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	84	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	69	いいえ	17	「いいえ」の場合何%	20.1 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	78	いいえ	8	「はい」の場合 一年何回	28.3 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	78	いいえ	7		

精度管理に関する質問調査 検診施設 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	43	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	43	いいえ	1		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	31	いいえ	13	「はい」ならば何%くらいですか	13.3 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	43	いいえ	1	「はい」の場合のダブルチェック実施率	34.0 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	5.0 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	43	いいえ	0	標本の保管年数	6.1 年	
					報告書の保管年数	8.4 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	44	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	44	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	40	いいえ	3		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	36	いいえ	8	1日の最大検体数	86.8 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	38	いいえ	6		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	42	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	43	いいえ	1		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適切な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	43	いいえ	1		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	43	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	37	いいえ	6	「いいえ」の場合何%	16.7 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	34	いいえ	10	「はい」の場合 一年何回	25.1 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	32	いいえ	9		